

## 東京都庭園美術館

事業名	会期	概要
建物公開2023 邸宅の記憶	2023年4月1日 ～6月4日	1933年に竣工した旧朝香宮邸(東京都庭園美術館本館)の建築としての魅力を紹介する、年に一度の建物公開展です。世界的に貴重なアール・デコ建築として名高いこの建物は、当時皇族であった朝香宮家の邸宅として誕生しました。この展覧会では、宮邸時代の家具や調度を用いた邸宅空間の再現展示に加えて、かつてこの空間を往来した人々が残した写真や映像資料、工芸品、調度品、衣装などによって、宮家の暮らしの一端を紹介します。
フィンランド・グラスアート 輝きと彩りのモダンデザイン	2023年6月24日 ～9月3日	国の歴史と共に発展してきたフィンランドのガラス。1930年代に台頭したグラスアートは、戦後の復興を経て、後にデザイン大国フィンランドの評価を確固たるものになりました。その黄金期に活躍したアーティストたちを中心に、自然の中で培われた造形やガラスが持つ表現力への探求心など、作品に込められた想いに迫ります。また、現代の作品へと繋がる系譜や日々の暮らしに根付くフィンランド・グラスの魅力について紹介します。
庭園芸術とアール・デコ	2023年9月23日 ～12月10日	1925年のアール・デコ博覧会では、「庭園芸術」が独立した出品分類として設けられ、各パヴィリオン周囲の周囲や街路には多種多様な庭園が作られました。“庭”を“装飾”することは、建築家・装飾美術家たちにとって重要なテーマの一つでした。この展覧会では、両大戦間期のフランスを中心とした近代庭園を巡る動向に着目し、古典・異国趣味・モダニズム的要素を取り入れて展開していった様子を、絵画や工芸、写真、デザインなどの作品から紹介します。
旧朝香宮邸を読み解く A to Z	2024年2月17日 ～5月12日	Art-Deco, Bathroom, Chandelier, Decorative art...本館である旧朝香宮邸の建築に関する専門用語や室内装飾を、AからZのキーワードに沿って発見的に読み解くことで、歴史・美術史的価値を理解しながら鑑賞できる展覧会です。40年間にわたる調査研究の蓄積を振り返るとともに、教育普及事業など、現在の活動もあわせて披露。庭園美術館の独自性を存分にご覧いただけます。

※この内容は2023年1月31日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。

詳細は東京都庭園美術館広報担当までお問い合わせください。

※太枠は本プレスリリースの表紙に掲載している事業です。

### <お問い合わせ先>

#### 東京都庭園美術館

〒108-0071 港区白金台5-21-9

電話：03-3443-0201 <https://www.teien-art-museum.ne.jp/>

【開館時間】10時～18時 【休館日】月曜日(祝日・振替休日の場合は開館、翌平日休館)、年末年始

※新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、開館時間を変更する場合があります。

最新情報は、公式ウェブサイトでご確認ください。

## 東京都江戸東京博物館

\*大規模改修のため、2022年4月1日～2025年度中(予定)まで全館休館いたします。  
 なお、一部の事業は、休館期間中も他会場で実施する予定です。

事業名	会期	概要
特別展「隅田川－江戸時代の都市風景」	2023年7～8月頃	東京都江戸東京博物館は休館中も他会場を利用した特別展の実施により、江戸東京の歴史と文化を発信します。この展覧会は2022年度にソウル歴史博物館で開催した国際交流展「隅田川－江戸時代の都市風景」展の凱旋展です。隅田川流域における江戸時代の生活と文化を、同展出品資料から精選して紹介します。  会場：都内文化施設
特別展「出張！江戸東京博物館」	2024年2月21日～25日	約9,000㎡の広大なスペースで江戸東京の歴史と文化を体感できる、体験型資料が特徴の東京都江戸東京博物館常設展示室。今回は東京都美術館に出張し、体験模型のコーナーや複製資料を含む収蔵品などを展示します。人力車の製造工場の絵など、体験模型の理解を深める関連資料も展示予定。休館中も常設展示をお楽しみいただける企画です。入場無料。  会場：東京都美術館 公募展示室
えどはくカルチャー	年12回程度	東京都江戸東京博物館の学芸員などの講師が、江戸東京の歴史と文化に関する調査研究の成果を分かりやすく解説する「えどはくカルチャー」。子供から大人まで、幅広い層に江戸東京の歴史と文化を学べる環境をご提供する大人気の講座シリーズです。休館中も都内他会場にて引き続き実施します。  会場：江戸東京たてもの園 ほか
えどはく移動博物館	出張ワークショップ 年12回程度  出張展示 年6回程度	教育普及事業として、「移動博物館」と題し、出張ワークショップや出張展示を実施します。ワークショップでは、生活の中で親しまれてきた道具や江戸の文化が感じられるアイテムを使った体験型のプログラムを実施。展示では、江戸時代から近現代までを対象に、レプリカや模型、パネルなどを展示します。学芸員が、授業・研修・イベントなど対象者のニーズに即して実施します。  対象：東京都内の学校、高齢者施設 など
観る・学ぶ・楽しむ えどはくスペシャル公演	年4回程度	東京の文化の源流にある伝統芸能を次世代へ継承するため、当館主催の「観る・学ぶ・楽しむ えどはくスペシャル公演」を開催します。都民が気軽に伝統芸能を楽しめるよう、初心者やお子様にも親しみやすいプログラムの実施や、学芸員による解説なども行います。東京都江戸東京博物館ホールが休館中のため、都内他会場にて開催します。  会場：都内ホール施設 など

※この内容は2023年1月31日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。  
 詳細は東京都江戸東京博物館広報担当までお問い合わせください。

### <お問い合わせ先>

#### 東京都江戸東京博物館

〒130-0015 墨田区横網1-4-1

電話：03-3626-9974 <https://www.edo-tokyo-museum.or.jp>

※大規模改修工事のため、2025年度中(予定)まで休館中です。

最新情報は、公式ウェブサイトでご確認ください。

## 江戸東京たてもの園(1)

事業名	会期	概要
特別展 日本のタイル100年 —美と用のあゆみ	2023年3月11日 ～8月20日	幕末から明治期にかけ、西洋建築が日本で普及をはじめの際、内外装の素材となる「タイル」も伝来しました。当初は「装飾煉瓦」など、さまざまな名称で呼ばれていましたが、1922年(大正11年)4月に開かれた全国タイル業者大会で名称が「タイル」に統一されました。それから100年を記念して、日本におけるタイルの歴史とそれを通じて見える暮らしや建築の変化を紹介する展覧会です。
こどもの日イベント	2023年5月4日、5日	ゴールデンウィーク期間中の2日間、こどもの日にちなんだ企画を実施します。鯉のぼりがそよぐ広場では、大人も子供も一緒に昔のあそびを楽しめます。また、昭和の商店建築や茅葺きの民家など、園内のさまざまな時代や様式のとてものを活用して、昔の暮らしを体験できる催しを行います。
夜間特別開園 下町夕涼み	2023年8月5日、6日	開園時間を延長し、夏の夕べの過ごし方を体感していただける催しです。園内の「下町中通り」では、提灯や建物のあかりがとる復元建造物の商店が下町の夏の風情を感じさせます。伝統的な日本の民家では、夕べの涼やかな風を感じながら過ごしていただけます。
特別展 江戸東京博物館コレクション ～江戸東京のまちづくり～	2023年9月16日 ～12月17日	2022年4月より大規模改修のため休館に入った東京都江戸東京博物館のコレクションを元に、江戸東京の歴史や生活文化を紹介する展覧会です。「江戸東京のまちづくり」をテーマに、江戸の町の様子や、関東大震災・東京大空襲を経て姿を変えた東京の町並みを紹介いたします。
夜間特別開園 紅葉とたてもの ライトアップ	2023年11月25日、 26日	紅葉が深まる時季に合わせ、特別に開園時間を延長して行う催しです。園内の色付く木々と歴史的建造物をほのかな光で美しく照らし出し、建物の中にはあたたかなあかりがとる、昼間とは趣の異なる夜のたてもの園を散策していただけます。大正時代のガス灯点灯、民家の囲炉裏や洋館の暖炉に火を入れる催しなど、昔のあかりやぬくもりを体感いただけます。
たてもの園でお正月	2024年1月2日、3日	正月2日、3日に入園無料の特別開園を行い、皆様をお迎えます。園内の復元建造物にしめ飾りや門松を立て、獅子舞や太神楽などの新年にふさわしい伝統芸能をご覧いただけます。また、江戸時代より庶民に親しまれていた縁起物の「宝船絵」(印刷物)を、先着順で配布します。

※この内容は2023年1月31日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。  
詳細は江戸東京たてもの園広報担当までお問い合わせください。

### <お問い合わせ先>

#### 江戸東京たてもの園

〒184-0005 小金井市桜町3-7-1(都立小金井公園内)

電話 042-388-3300 <https://www.tatemonoen.jp/>

【開園時間】9時30分～17時30分(10月～3月は16時30分まで)

【休園日】月曜日(祝日・振替休日の場合は開園、翌平日休園)、年末年始

※新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、開園時間等を変更する場合がございます。

最新情報は公式ウェブサイトでご確認ください。

## 江戸東京たてもの園(2)

事業名	会期	概要
成人の日はたてもの園へ	2024年1月8日	ハレの日の記念に、歴史ある建造物が建ち並ぶたてもの園で新成人をお祝いする催しです。人力車での園内めぐりのほか、復元建造物である写真館内のスタジオでは、お手持ちのカメラで記念撮影ができます。新成人は無料でご入園いただけます。
特別展 江戸東京博物館コレクション ～江戸東京のくらしと乗り物～	2024年3月23日 ～7月7日	2022年4月より大規模改修のため休館に入った東京都江戸東京博物館のコレクションを元に、江戸東京の歴史や生活文化を紹介する展覧会です。 近代において新たな「乗り物」の登場は、人々の生活に大きな変化をもたらしました。乗り物の果たした役割、技術革新の工夫、街並みの変容などを紹介いたします。
たてもの園フェスティバル	2024年3月27日、 28日	小金井公園にある1,700本の桜のつぼみがほころぶこの時季、子供から大人まで一緒に楽しめる催しを行います。身体を使って建物の形を表す「けんちく体操」をはじめ、伝統工芸の実演や職人の技を体験する催し、アーティストによるパフォーマンスなどさまざまな事業を行います。開園記念日の3月28日は無料でご入園いただけます。

※この内容は2023年1月31日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。

詳細は江戸東京たてもの園広報担当までお問い合わせください。

※太枠は本プレスリリースの表紙に掲載している事業です。

### <お問い合わせ先>

#### 江戸東京たてもの園

〒184-0005 小金井市桜町3-7-1(都立小金井公園内)

電話 042-388-3300 <https://www.tatemonoen.jp/>

【開園時間】9時30分～17時30分(10月～3月は16時30分まで)

【休園日】月曜日(祝日・振替休日の場合は開園、翌平日休園)、年末年始

※新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、開園時間等を変更する場合がございます。

最新情報は公式ウェブサイトでご確認ください。

## 東京都写真美術館(1)

事業名	会期	概要
深瀬昌久 1961-1991 レトロスペクティブ	2023年3月3日 ～6月4日	第二期重点収集作家の一人、深瀬昌久(1934-2012)の個展。1960～70年代という日本写真の黄金時代に、荒木経惟や森山大道らと時代を同じくして、新しい表現を切り開いた作家の活動を紹介します。東京都写真美術館所蔵の作品をベースに、深瀬昌久の代表作により構成。魅力的な人物像を浮き彫りにしながら、表現の特異性を検証していきます。
TOPコレクション セレンディピティ	2023年4月7日 ～7月9日	東京都写真美術館所蔵の国内外の名品から、何気ない日常を切り取った作品などを紹介し、そこに写るものを見ていくことで、その瞬間に作家がシャッターを切った理由や、人が写真を撮影し記録しようとする動機を考えます。写真を見ることによる癒しの効果(心が満たされたり、生きる喜びを感じるということ)に注目しつつ、コレクションの豊かさ、奥深さを広く一般に再認識してもらおう機会とします。
田沼武能 人間讃歌	2023年6月2日 ～7月30日	田沼武能は、写真家・木村伊兵衛に師事し、月刊誌『芸術新潮』の嘱託写真家として芸術家や文化人を撮影、その後はタイム・ライフ社の契約写真家となるなど、フォトジャーナリズムの世界で華々しい活躍を展開し、2022年6月に93歳で急逝しました。1972年からはライフワークとして世界の子供たちを撮影、生涯で120を超える国と地域に足を運びました。常にヒューマニスティックな視点で人間のドラマを描き続けてきた田沼武能の魅力あふれる写真家生活を振り返ります。
本橋成一とロベール・ドアノー	2023年6月16日 ～9月24日	「木村伊兵衛とアンリ・カルティエ・ブレッソン」展(2009年)、「植田正治とジャック・アンリ・ラルティエーグ」展(2013年)に続く、日仏を代表する写真家の二人展シリーズの第3弾。本橋成一(第三期重点収集作家)とロベール・ドアノーの軌跡をたどりながら、時代や地域を超えても共鳴し合う二人の作品を展覧します。出品作品:約180点(本橋成一作品約90点、ロベール・ドアノー作品約90点)を予定。
TOPコレクション 覗き見る	2023年7月19日 ～10月15日	「覗き見る」イメージとメディア・テクノロジーの歴史をたどりつつ、現在の映像表現を考察します。我々が世界を見る際のひとつの形式である「覗く」という行動が、いかなる方法や装置をとまない変化してきたのか、豊富な視覚文化史にかかわる作品・資料を中心に展示します。「覗く」ことによって得られたイメージと、それを可能にした技術を振り返り、現代における写真・映像表現の一端を紹介します。
映像展 風景以降	2023年8月11日 ～11月5日	どこにでもある風景を現実の側からどのように捉え直していくか、わが国における風景論の起点となった1970年代前後の写真及び映像作品、関連する資料から、現代作家の作品まで広く歴史的に振り返りながら、今日にいたるまでの風景とその表現の変容を東京都写真美術館の映像コレクションを中心に紹介します。また1階ホールでは、風景と映画をめぐる特集上映を行う予定です。

※この内容は2023年1月31日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。  
詳細は東京都写真美術館広報担当までお問い合わせください。

### <お問い合わせ先>

#### 東京都写真美術館

〒153-0062 目黒区三田1-13-3

電話 03-3280-0099 <https://www.topmuseum.jp>

【開館時間】10時～18時(木曜日・金曜日は20時まで)

【休館日】月曜日(祝日・振替休日の場合は開館、翌平日休館)、年末年始、臨時休館日

※新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、開館時間等を変更する場合がございます。

最新情報は公式ウェブサイトでご確認ください。

## 東京都写真美術館(2)

事業名	会期	概要
ホンマタカシ	2023年10月6日 ～2024年1月21日	東京国立近代美術館や金沢21世紀美術館をはじめ、国内外の美術館に作品が収蔵され、国際的に高い評価を得ている写真家、ホンマタカシ(1962年-、東京都生まれ)。美術館では約10年ぶりとなる個展では、近作を中心に紹介。写真作品のみならず、1階ホールで映像作品の上映も行います。
日本の新進作家 vol.20	2023年10月27日 ～2024年1月21日	東京都写真美術館では、2002年より写真・映像の可能性に挑戦する創造的精神を支援し、将来性のある作家を発掘するとともに、新たな創造活動を紹介する「日本の新進作家」展を開催してきました。シリーズ20回目では、5人の作家を取り上げ、独自の方法で不確かな時代を生き抜くための原動力を探ります。
恵比寿映像祭2024	2024年2月2日 ～2月18日 (3階展示室のみ 3月24日まで)	映像分野における創造活動の活性化と、優れた映像表現を過去から現在、そして未来へと継承し、さまざまなジャンルとの対話を促す映像とアートの国際フェスティバル。国内外の美術館、関係機関、近隣との連携を深めながら、映像文化の拠点として多彩な事業を推進していきます。将来性の高い日本の優れた映像作家へ制作委嘱した作品を展示上映、国内外で発信していく事業など、国際発信力の高い事業を展開します。
イメージと記憶	2024年3月1日 ～6月9日	写真・映像は、人々のどのような「記憶」を捉えようとしてきたのか。国内外の現代作家による写真・映像の意味を問い直すグループ展です。ヒトの記憶のシステムにも視点を向けながら、パーソナルな記憶と時代に刻まれたパブリックなイメージの両面から考察していきます。

※この内容は2023年1月31日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。

詳細は東京都写真美術館広報担当までお問い合わせください。

※太枠は本プレスリリースの表紙に掲載している事業です。

### <お問い合わせ先>

#### 東京都写真美術館

〒153-0062 目黒区三田1-13-3

電話 03-3280-0099 <https://www.topmuseum.jp>

【開館時間】10時～18時(木曜日・金曜日は20時まで)

【休館日】月曜日(祝日・振替休日の場合は開館、翌平日休館)、年末年始、臨時休館日

※新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、開館時間等を変更する場合がございます。

最新情報は公式ウェブサイトでご確認ください。

## 東京都現代美術館(1)

事業名	会期	概要
クリスチャン・ディオール、夢のクチュリエ	2022年12月21日 ～2023年5月28日	パリ、ロンドン、上海、NY、ドーハで成功を収めた大回顧展。未来を見据えた創設者クリスチャン・ディオールから70年以上も受け継がれる創作への情熱、さらにメゾンと日本との強い絆に焦点を当て、新たな空間デザインのもと、初公開のアーカイブピースを含むディオールの豊かな文化遺産を紹介します。
MOTコレクション	2023年3月18日 ～6月18日	東京都現代美術館の幅広い収蔵作品の中から、さまざまな組み合わせや新しいテーマによる展示を行い、コレクションの新たな魅力をお伝えします。
デイヴィッド・ホックニー展	2023年7月15日 ～11月5日	現代で最も革新的な画家といわれるデイヴィッド・ホックニー(1937年-、イギリス生まれ)の日本では27年ぶりとなる大規模な個展です。1960年代にアメリカの西海岸で描いた初期の代表作から、近年の集大成というべきイギリスの情景を描いた大型絵画のシリーズ、新型コロナウイルスによるロックダウン中に描いた全長90メートルにも及ぶ新作まで、100点以上のホックニーの作品を紹介する、日本におけるこれまでで最も充実した展覧会となります。
あ、共感とかじゃなくて。	2023年7月15日 ～11月5日	こどもや現代美術エントリー層に向けて継続的に開催してきた展覧会を、今年度も夏休みから秋にかけて行います。今回は、「共感」という言葉を手掛かりにして、他者や社会との関わり方を考えていきます。アーティストによる新作インスタレーションなどをゆったりとした雰囲気の中で展示し、共感する楽しさと危うさ、そして多様なものを多様なまま受け入れる現代美術のあり方を紹介します。
MOTコレクション	2023年7月15日 ～11月5日	東京都現代美術館の幅広い収蔵作品の中から、さまざまな組合せや新しいテーマによる展示を行い、コレクションの新たな魅力をお伝えします。
TOKYO ART BOOK FAIR 2023	2023年11月23日 ～26日	TOKYO ART BOOK FAIR 2023は、独創的なアートブックやZINE(自主制作出版物)を制作する国内外の出版社、ギャラリー、アーティストら出展者が、それぞれの印刷物の魅力を直接のコミュニケーションを通して来場者へと伝えます。ひとつの国や地域の出版文化に焦点を当てる企画「Guest Country」では、ノルウェー、スウェーデン、フィンランド、デンマークをフィーチャー。老舗から新進気鋭の出版社、さまざまな分野で活躍するアーティストやデザイナーらを、展示やトークイベントを通して紹介し、北欧4カ国の豊かな出版シーンをひもときます。

※この内容は2023年1月31日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。

詳細は東京都現代美術館広報担当までお問い合わせください。

※太枠は本プレスリリースの表紙に掲載している事業です。

### ＜お問い合わせ先＞

#### 東京都現代美術館

〒135-0022 江東区三好4-1-1

電話：03-5245-4111 <https://www.mot-art-museum.jp>

【開館時間】10時～18時(美術館開館日)

【休館日】月曜日(祝日・振替休日の場合は開館、翌平日休館)、展示替え期間、年末年始

※新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、開館時間を変更する場合があります。

最新情報は、公式ウェブサイトでご確認ください。

## 東京都現代美術館(2)

事業名	会期	概要
MOTアニュアル2023	2023年12月2日 ～2024年3月3日	若手中心に現代美術の傾向をとらえるグループ展シリーズとして、アーティストが「創造」する作品と、近年のNFT隆盛や、AI(人工知能)、ロボティクスや生命科学への興味を反映して「生成」される作品、その双方を考える作品展を開催します。繊細な手仕事の根底に情報処理の概念が存在する作品など、デジタルとアナログの二項対立ではなく、テクノロジーを通してアイデアに形を与える試みを、メタバースへの展開も含めて紹介します。
豊嶋康子展	2023年12月9日 ～2024年3月10日	1990年代よりさまざまな社会システムへの関心を通して社会と個人の関係、自己の在り様を問い続けている作家、豊嶋康子(1967-)の美術館での初個展です。学校教育や美術、経済といった私たちに内面化された諸価値を独自の仕方を読み替えることで、その中で生きる「私」の姿を浮き彫りにする豊嶋の仕事は、閉塞感が謳われる今日にあつてますます重要性を帯びています。初期の作品から新作まで再解釈も含めた構成により、その仕事の全貌を紹介します。
MOTコレクション	2023年12月2日 ～2024年3月10日	東京都現代美術館の幅広い収蔵作品の中から、さまざまな組み合わせや新しいテーマによる展示を行い、コレクションの新たな魅力をお伝えします。

※この内容は2023年1月31日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。  
詳細は東京都現代美術館広報担当までお問い合わせください。

### <お問い合わせ先>

#### 東京都現代美術館

〒135-0022 江東区三好4-1-1

電話：03-5245-4111 <https://www.mot-art-museum.jp>

【開館時間】10時～18時(美術館開館日)

【休館日】月曜日(祝日・振替休日の場合は開館、翌平日休館)、展示替え期間、年末年始

※新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、開館時間を変更する場合があります。

最新情報は、公式ウェブサイトでご確認ください。

## 東京都渋谷公園通りギャラリー(1)

事業名	会期	概要
アール・ブリュット ゼン&ナウ Vol.2「Echo こだま返る風景」	2023年1月21日 ～4月9日	国内外のアール・ブリュットの動向において、長く活躍を続ける作家と、近年発表の場を広げつつある作家を、さまざまな角度から紹介する展覧会シリーズ「アール・ブリュット ゼン&ナウ」。 2回目となる「Echo こだま返る風景」では、建物や家が立ち並ぶ街の風景を、独自のまなざしで再構築する作家を紹介し、街とアール・ブリュットという視点で、アール・ブリュットが都市生活者にとっても身近な芸術文化であることを広く伝えます。
アール・ブリュット ゼン&ナウ Vol.3「ただよう記憶の世界」	2023年4月22日 ～6月25日	国内外のアール・ブリュットの動向において、長く活躍を続ける作家と、近年発表の場を広げつつある作家を、さまざまな角度から紹介する展覧会シリーズ「アール・ブリュット ゼン&ナウ」。 3回目となる「ただよう記憶の世界」では、さまざまな身体感覚の記憶から生まれた作品に注目。一度見た風景やものを記憶し、再構築された作品など、作家のそれぞれの記憶の世界を紹介しします。
モノクローム 描くこと	2023年7月22日 ～9月24日	アール・ブリュットを新たな視点で紹介する企画展。 モノクロームをテーマに、限られた色の中で描かれる作品がもつ独自の世界に注目し、条件を絞ることで強いコントラストをもって見えてくる、多様な表現を紹介しします。
アール・ブリュット2023巡回展	【東京都渋谷公園通りギャラリー】 2023年10月21日 ～12月24日 【都内巡回会場】 2023年9月～10月 2024年1月～2月	アール・ブリュットの作家や作品を広く東京都内で紹介する巡回展。 東京都渋谷公園通りギャラリーのほか都内の二つの会場を巡回しします。
共棲の間合い	2024年2月10日 ～5月12日	共生、包摂性をテーマとする企画展で、影響し合い生きていることを意味する「共棲」に焦点を当て、同時代の現代美術のなかでも、他者との関係性や間柄に注目する作家や作品を紹介し、ダイバーシティの理解促進とインクルージョンへの意識向上に寄与しします。 鑑賞者の身近な存在との関係について、鑑賞者自身に置き換えて再考する機会を促す内容とすることで、日常生活や社会での他者理解を一步前進させるきっかけを創出します。
交流プログラム	通年	さまざまな背景を持つ参加者が、参加者同士や他分野のアーティスト、専門家と交流することができる各種プログラム(トーク、ワークショップ、パフォーマンス、公開制作、アーカイブ映像上映など)を開催し、アートを通して社会における多様性や共生を考える機会を創出します。

※この内容は2023年1月31日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。

詳細は東京都渋谷公園通りギャラリー広報担当までお問い合わせください。

※太枠は本プレスリリースの表紙に掲載している事業です。

### <お問い合わせ先>

#### 東京都渋谷公園通りギャラリー

〒150-0041 渋谷区神南1-19-8 渋谷区立勤労福祉会館1F

電話 03-5422-3151 <https://inclusion-art.jp/>

【開館時間】11時～19時

【休館日】月曜日(祝日・振替休日の場合は開館、翌平日休館)、年末年始

※新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、開館時間を変更する場合があります。

最新情報は、公式ウェブサイトでご確認ください。

## 東京都渋谷公園通りギャラリー(2)

事業名	会期	概要
交流プログラム RAW03 パフォーマンス	2023年7月7日 ～9日	音楽やダンス、演劇、対話など、展示という形式では扱うことが難しい「生の表現」が生まれる場として、アーティスト同士や観客の反応を踏まえながら展開するプログラムシリーズ「RAW」。シリーズ3回目は、ダンスアーティストなかむらくるみ主宰の自由な身体表現を楽しむダンスカンパニー「あら・おるず」による公演を行います。
交流プログラム kids meet 03	2023年8月5日 ～6日	さまざまなバックグラウンドを持つ子供たちが、アートの体験を通じて偶然の出会いや想像もできないものごとと巡り合い、対話する機会を創出する子供のプログラムシリーズ「kids meet」。障害の有無にかかわらず参加・交流するインクルーシブな身体表現ワークショップを行います。
交流プログラム いっしょにアトリエ	2023年8月後半 ～9月24日  2023年10月1日 ～31日	アーティストを招き、ものづくりをみんなで楽しむ空間を運営します。
交流プログラム 参加型ワークショップ	2023年11月初旬 ～12月24日	アーティストを招き、公開制作や参加型ワークショップを行います。
交流プログラム アートプロジェクト	2023年4月 ～2024年3月	多様な人々の対話と交流を重ねるアウトリーチ活動やプラットフォームづくりを行います。

※この内容は2023年1月31日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。  
詳細は東京都渋谷公園通りギャラリー広報担当までお問い合わせください。

### <お問い合わせ先>

#### 東京都渋谷公園通りギャラリー

150-0041 渋谷区神南1-19-8 渋谷区立勤労福祉会館1F

電話 03-5422-3151 <https://inclusion-art.jp/>

【開館時間】11時～19時

【休館日】月曜日(祝日・振替休日の場合は開館、翌平日休館)、年末年始

※新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、開館時間を変更する場合があります。

最新情報は、公式ウェブサイトでご確認ください。

トーキョーアーツアンドスペース(TOKAS) (1)

会場:TOKAS本郷

事業名	会期	概要
TOKAS-Emerging 2023	第1期 2023年4月8日 ～5月7日  第2期 2023年5月20日 ～6月18日	これまでに300名以上の新たな才能を紹介してきた、若手アーティストの発掘、育成、支援プログラム。日本在住35歳以下の作家81組の応募の中から、6名を選出しました。平面や立体、映像、インスタレーションなど、2期に分けてそれぞれが個展を開催します。
トーキョーアーツアンドスペース レジデンス2023成果発表展	第1期 2023年7月1日 ～8月6日  第2期 2023年8月19日 ～9月24日	2006年より実施しているレジデンス・プログラムの参加作家による成果発表展。2021年度に海外の提携機関に派遣した作家やTOKASレジデンシー(東京都墨田区)に滞在した作家たちが、リサーチを経て発展させた作品を紹介します。
TOKAS Project Vol. 6 「東京×ケベック」	2023年10月7日 ～11月12日	海外の専門家やアート・センター、文化関連機関との連携プログラム。ケベック州政府在日事務所開設50周年を記念して、ケベックとのレジデンス・プログラムに参加した作家の展覧会を開催します。
OPEN SITE 8	第1期 2023年11月25日 ～12月24日  第2期 2024年1月13日 ～2月11日	ジャンルを問わず新しい表現を創造し、社会へと開いていく意欲に満ちた企画が集まるプラットフォームを目指した、企画公募プログラム。選出された展示とパフォーマンス企画のほか、TOKASによる推奨企画や普及プログラムなどを実施します。
ACT (Artists Contemporary TOKAS) Vol. 6	2024年2月24日 ～3月24日	TOKASの活動支援プログラムに参加経験があり、注目すべき活動を行っているアーティストを中心に企画展を開催します。

※この内容は2023年1月31日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。

詳細はトーキョーアーツアンドスペース広報担当までお問い合わせください。

※太枠は本プレスリリースの表紙に掲載している事業です。

<お問い合わせ先>

◀ トーキョーアーツアンドスペースオフィス ▶

〒135-0022 江東区三好4-1-1 東京都現代美術館内  
電話 03-5245-1142 <https://www.tokyoartsandspace.jp/>  
【お問い合わせ受付】9時30分～18時15分(平日のみ)

◀ トーキョーアーツアンドスペース本郷 ▶

〒113-0033 文京区本郷2-4-16  
【開館時間】11時～19時 【休館日】月曜日(祝日・振替休日の場合は開館、翌平日休館)、展示替え期間、年末年始  
※新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、開館時間等を変更する場合がございます。  
最新情報は公式ウェブサイトでご確認ください。

トーキョーアーツアンドスペース(TOKAS) (2)  
会場:TOKASレジデンシー

事業名	会期	概要
オープン・スタジオ 2023-2024	2023年7月21日 ～23日  2023年11月17日 ～19日  2024年3月15日 ～17日	TOKASレジデンシー(東京都墨田区)では年間約50組のクリエイターが滞在し、創作やリサーチを行っています。7月、11月、3月にはクリエイターの滞在中の活動や制作した作品を公開します。トークイベントや、スタッフによる作品解説、施設見学ツアーも行います。
夏のこどもワークショップ	2023年8月	アーティストを招き、子供を対象とした制作ワークショップをTOKASレジデンシーのスタジオを使って開催します。

会場:東京都現代美術館

Tokyo Contemporary Art Award 2021-2023 受賞記念展 「さばかれえぬ私(わたくし)へ」	2023年3月18日 ～6月18日	東京都とTOKASが2018年に創設した海外での活動に意欲がある中堅アーティストが対象の「Tokyo Contemporary Art Award」。第3回の受賞者、志賀理江子と竹内公太による展覧会を東京都現代美術館で開催し、本賞受賞を経て制作された新作を中心に展示します。
Tokyo Contemporary Art Award 2022-2024 受賞記念展	2024年3月～6月	「Tokyo Contemporary Art Award」第4回の受賞者、サエボーグと津田道子による展覧会を東京都現代美術館で開催します。

※この内容は2023年1月31日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。  
詳細はトーキョーアーツアンドスペース広報担当までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

《トーキョーアーツアンドスペースオフィス》

〒135-0022 江東区三好4-1-1 東京都現代美術館内  
電話 03-5245-1142 <https://www.tokyoartsandspace.jp/>  
【お問い合わせ受付】9時30分～18時15分(平日のみ)

《トーキョーアーツアンドスペースレジデンシー》

〒130-0023 墨田区立川2-14-7-1F (オフィス501)  
※オープン・スタジオは11時～17時開催、ワークショップは開催時間未定  
※オープン・スタジオ等イベント開催時のみ一般公開  
※新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、開館時間等を変更する場合がございます。  
最新情報は公式ウェブサイトでご確認ください。

## 東京都美術館(1)

事業名	会期	概要
特別展「マティス展」	2023年4月27日 ～8月20日	20世紀を代表するフランスの巨匠、アンリ・マティス(1869-1954年)。モダン・アートの誕生に決定的な役割を果たした画家の各時代の代表的な作品によって、その豊かな光と色に満ちた造形的な冒険をたどります。世界最大規模のマティス・コレクションを所蔵するポンピドゥー・センターの全面的な協力を得て開催。日本では約20年ぶりとなる大回顧展です。
都美セレクトショングループ展 2023	2023年6月10日 ～7月2日 * グループ毎に会場 を分けて開催	従来の発想にとらわれず新しい表現を追求する現代作家たちの創作活動の支援を目的とし、東京都美術館の展示空間だからこそ実現可能な、グループによる展覧会企画を公募し実施します。2023年度は、審査により選出した3グループの展覧会を開催します。
企画展「荒木珠奈展」	2023年7月22日 ～10月9日	ニューヨークを拠点に、版画や立体、インスタレーションなど幅広い表現を続けている荒木珠奈(1970年-)の旧作から新作までを展示します。ギャラリーAの10mの吹き抜けの空間では、多様な人々を惹きつけ受け入れてきた上野という土地と、ニューヨークで移民として暮らす作家の関心を重ね合わせ、土地の記憶を映し出すような大型のインスタレーション作品を展示します。
特別展「永遠の都—世界遺産 ローマ展」	2023年9月16日 ～12月10日	栄えある歴史と比類なき文化を誇る永遠の都ローマ。古代ローマ帝国の遺構群フォロ・ロマーノを見下ろす丘に建つカピトリノ美術館の所蔵品を中心に、建国から古代の栄光、教皇たちの時代から近代まで、「永遠の都」と称される世界遺産ローマの2000年の歴史と芸術を、約70点の作品により紹介します。
上野アーティストプロジェクト 2023	2023年11月16日 ～2024年1月8日	公募団体展とともに歩み続けてきた東京都美術館の歴史と伝統を踏まえ、毎年魅力的な企画テーマを設定し、公募団体などで活躍している作家を紹介する「上野アーティストプロジェクト」の第7弾。今回は、自然界のさまざまな生きものの中から、菌類、植物、動物(鳥、馬、牛、ゴリラ)など、ひとつのテーマを追求し、その姿を「うつす」ことに取り組んできた作り手たちに注目します。
コレクション展	2023年11月16日 ～2024年1月8日	同時開催の上野アーティストプロジェクトにあわせ、「動物園」をテーマに、都立美術館、博物館の作品を活用した展覧会を実施し、上野を訪れる美術愛好者に東京都のコレクションを積極的に紹介します。

※この内容は2023年1月31日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。

詳細は東京都美術館広報担当までお問い合わせください。

※太枠は本プレスリリースの表紙に掲載している事業です。

### ＜お問い合わせ先＞

#### 東京都美術館

〒110-0007 台東区上野公園 8-36

電話 03-3823-6921 <https://www.tobikan.jp>

【開館時間】9時30分～17時30分(特別展開催中の金曜日は20時まで)

【休館日】第1・第3月曜日(祝日・振替休日の場合は開館、翌平日休館)、年末年始、整備休館

特別展・企画展は毎月曜日休室(祝日・振替休日の場合は開室、翌平日休室)

※新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、開館時間を変更する場合があります。

最新情報は、公式ウェブサイトでご確認ください。

## 東京都美術館(2)

事業名	会期	概要
特別展「ウスター美術館展」	2024年1月27日 ～4月7日	ウスター美術館(アメリカ)のコレクションを中心に、印象派の国際的な広がりを紹介する展覧会。バルビゾン派など印象派誕生直前から、モネやルノワールなどのフランス印象派、さらにアメリカをはじめとするフランス国外の状況まで、印象派の受容と展開をたどります。ほとんどが日本初公開で、アメリカ印象派の知られざる魅力を堪能いただく貴重な機会となります。
東京都美術館×東京藝術大学 「とびらプロジェクト」	通年	美術館を拠点にアートを紹介してコミュニティを育むソーシャルデザインプロジェクト「とびらプロジェクト」。毎年広く一般から募集するアート・コミュニケータ「とびラー」と、学芸員や大学の教員、そして第一線で活躍中の専門家がともに美術館を拠点に、芸術や文化資源を活かしながら、人と作品、人と人、人と場所をつなぐ活動を展開しています。年間を通して、一般の方が参加できるプログラムを実施し、2月頃にはフォーラムも開催しています。
建築ツアー	奇数月の第3土曜日 など年間10回程度	展覧会だけではなく、美術館の建物そのものも楽しんでほしい！そんな思いから始まったツアーです。東京都美術館のアート・コミュニケータ(とびラー)の案内で、館内外を散策し、建築の魅力に迫ります。ガイド個々人のオリジナリティが発揮され、それぞれ独自のツアーを展開中です。各回のツアー日時・内容は、美術館の公式ウェブサイトにて随時お知らせします。(要事前申込)
障害のある方のための 特別鑑賞会	特別展ごとに1回	障害のある方がゆったりと安心・安全に特別展を鑑賞できるよう、休室日に特別鑑賞会を開催しています。事前申込制で特別展ごとに1回開催し、東京都美術館のアート・コミュニケータ(とびラー)が当日のサポートをします。(要事前申込)
Museum Start あいうえの	通年	Museum Start あいうえのは上野公園に集まる9つの文化施設が連携し、子供と大人が学びあえる環境を創造する「ラーニング・デザイン・プロジェクト」です。ファミリー&ティーンズ・プログラム、学校プログラム、ダイバーシティ・プログラムを年間を通して開催し、ミュージアムが持つ豊かな文化資源を使った主体的な学びの場を継続的に支援していきます。(要事前申込)
Creative Ageing ずっとび	通年	誰もがクリエイティブに歳を重ねられる社会を目指し、シニア世代の方々を対象にした参加型の鑑賞や異世代交流の機会、認知症のある方々を対象にしたプログラムなどを企画しています。

※この内容は2023年1月31日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。  
詳細は東京都美術館広報担当までお問い合わせください。

### <お問い合わせ先>

#### 東京都美術館

〒110-0007 台東区上野公園 8-36

電話 03-3823-6921 <https://www.tobikan.jp>

【開館時間】9時30分～17時30分(特別展開催中の金曜日は20時まで)

【休館日】第1・第3月曜日(祝日・振替休日の場合は開館、翌平日休館)、年末年始、整備休館

特別展・企画展は毎月曜日休室(祝日・振替休日の場合は開室、翌平日休室)

※新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、開館時間を変更する場合があります。

最新情報は、公式ウェブサイトでご確認ください。

## 東京文化会館(1)

事業名	会期	概要
上野 de クラシック	2023年4月～2024年3月(全13回) 2023年4月20日 ほか	東京音楽コンクールの入賞者の支援を目的に開催するコンサートです。ソロやアンサンブルなどさまざまな形態の演奏をお届けします。平日の午前中を中心に、午後や夜にも開催予定です。  会場: 小ホール
創遊・楽落らいぶ —音楽家と落語家の コラボレーション—	2023年5月～2024年2月(全5回) 2023年5月25日 ほか	ミニ・コンサートと、落語と音楽のコラボレーションの2本立ての公演です。スペシャル版の夜公演は、外国人も楽しめるイラスト&英語字幕付きで開催予定です。  会場: 小ホール
《響の森》コンサート	2023年5月1日、 2024年1月3日	国内外で活躍する指揮者・ソリストを迎え、オーケストラによるコンサートを手頃な料金で鑑賞いただき、クラシック音楽の魅力をお伝えします。  指揮: 広上淳一(5月1日) 出演: 小林海都(ピアノ)(5月1日) 管弦楽: 東京都交響楽団  会場: 大ホール
夏休み子ども音楽会2023 《上野の森文化探検》	2023年7月23日	指揮者の解説を交えた、フルオーケストラによるファミリー向けのクラシックコンサートです。上野地域の美術館、博物館などに無料や割引料金で入場できる特典付きです。  指揮とお話: 大友直人 管弦楽: 東京都交響楽団  会場: 大ホール
第21回 東京音楽コンクール	第2次予選 2023年8月19日、 20日、21日  本選 2023年8月25日、 27日、29日	新人若手音楽家の発掘を目的としたコンクールです。2023年度は、ピアノ、弦楽、木管の3部門を対象に開催します。本選ではオーケストラ伴奏による演奏審査を行い、各部門の第1位から第3位の入賞者などを選出し、表彰式を行います。  第2次予選(公開審査) 会場: 小ホール 8月19日: 木管部門、20日: ピアノ部門、21日: 弦楽部門  本選(公開審査) 会場: 大ホール 8月25日: 木管部門、27日: ピアノ部門、29日: 弦楽部門

※この内容は2023年1月31日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。

詳細は東京文化会館広報担当までお問い合わせください。

※太枠は本プレスリリースの表紙に掲載している事業です。

### <お問い合わせ先>

#### 東京文化会館

〒110-8716 台東区上野公園5-45

電話 03-3828-2111 <https://www.t-bunka.jp/>

【開館時間】10時～22時 【休館日】年末年始、保守点検日 ほか

※新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、開館時間を変更する場合があります。

最新情報は、公式ウェブサイトでご確認ください。

## 東京文化会館(2)

事業名	会期	概要
東京文化会館オペラBOX 『Help! Help! グロボリンクス だ! ~エイリアン襲来!!~』	2023年9月24日	小ホールの特性を活かした特色あるオペラ公演を、上野中央通り商店会との共催で、東京音楽コンクール入賞者を起用して開催します。今回は、2017年に上演したメノッティのオペラを、ワークショップ参加の子供たちとともに再演します。  指揮: 柴田真郁 演出: 岩田達宗  会場: 小ホール
舞台芸術創造事業 「曾根崎心中」	2023年12月16日	実験的、前衛的な舞台芸術作品を多彩なコラボレーションにより創造・発信する舞台芸術創造事業。これまで東京文化会館とは海外作品に取り組んできた人形劇俳優の平常が、日本古典の名作「曾根崎心中」で新境地を開きます。  脚本・演出・人形操演: 平常(たいらじょう) 選曲: 宮田 大 演奏: 田原綾子(ヴィオラ) 大田智美(アコーディオン)  会場: 小ホール
第21回 東京音楽コンクール 優勝者&最高位入賞者コン サート	2024年1月8日	第21回東京音楽コンクール各部門優勝者・最高位入賞者の披露演奏会です。各演奏後の司会者によるインタビューを通し、ソリストの手柄も紹介します。  ソリスト: ピアノ部門、弦楽部門、木管部門の各優勝者 又は最高位入賞者 管弦楽: 新日本フィルハーモニー交響楽団  会場: 大ホール
舞台芸術創造事業 カイヤ・サーリアホ生誕70周年 記念	2024年1月13日	70歳を迎えさらに人気の高まるフィンランド出身の作曲家サーリアホが自ら選出した新進気鋭の作曲家の新作などを取り上げる前半に続き、後半は日本を代表するダンサー森山開次と、欧州で頭角を現す若手作曲家のコラボレーションをお届けします。  作曲: カイヤ・サーリアホ ジョセフィーヌ・シュテファンソン ほか 振付・ダンス: 森山開次  会場: 小ホール
東京文化会館 公開リハーサル	全1回開催 (開催日未定)	通常是非公開の「音楽創り」を進めていく過程を無料公開します。新たな公演の魅力や楽しみ方を発見できる事業です。  会場: 大ホール

※この内容は2023年1月31日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。  
詳細は東京文化会館広報担当までお問い合わせください。

### <お問い合わせ先>

#### 東京文化会館

〒110-8716 台東区上野公園5-45

電話 03-3828-2111 <https://www.t-bunka.jp/>

【開館時間】10時~22時 【休館日】年末年始、保守点検日 ほか

※新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、開館時間を変更する場合があります。

最新情報は、公式ウェブサイトでご確認ください。

## 東京文化会館(3)

事業名	会期	概要
東京文化会館 バックステージツアー	複数回開催 (開催日未定)	普段見ることのできない舞台裏などの見学を通して、東京文化会館の歴史と事業を多くの方々に知っていただき、親しみを深めていただく機会を提供します。<舞台編>と<建築編>を開催します。  ツアー内容:大ホール舞台装置や出演者が残したサインの見学、照明の操作体験など  会場:大ホール
ティータイムコンサート	複数回開催予定 (開催日未定)	昼下がりのひと時、大ホールのホワイエで行う無料のコンサートです。  出演者:東京都交響楽団員  会場:大ホール ホワイエ
東京音楽コンクール 入賞者支援リサイタル	全5回程度開催 2023年8月26日 ほか	東京音楽コンクールの入賞者の支援を目的に、入賞者と東京文化会館との共催によるリサイタルを開催します。  会場:小ホール
貸館連携事業	全3回程度開催 (開催日未定)	次世代を担う子供たちや高齢者などを対象とし、貸館利用者との連携により、オペラやバレエ公演と連動したワークショップや公開リハーサル、バックステージツアーなどを行います。  会場:大ホール ほか
国内外連携事業	全3回程度開催 (開催日未定)	国内外の文化施設と連携し、若手アーティストの活躍の場の提供などを行います。  会場:軽井沢大賀ホール ほか

※この内容は2023年1月31日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。  
詳細は東京文化会館広報担当までお問い合わせください。

### <お問い合わせ先>

#### 東京文化会館

〒110-8716 台東区上野公園5-45

電話 03-3828-2111 <https://www.t-bunka.jp/>

【開館時間】10時～22時 【休館日】年末年始、保守点検日 ほか

※新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、開館時間を変更する場合があります。

最新情報は、公式ウェブサイトでご確認ください。

## 東京文化会館(4)

事業名	会期	概要
フレッシュ名曲コンサート	全22回程度開催 (開催日未定)	都内の区市町村及び区市町村が指定する団体との共催によりオーケストラや室内楽のコンサートを実施します。次代を担う新進気鋭の音楽家が毎年活躍しています。  会場: 都内各ホール
新進音楽家国際キャリアアップ支援	全3回程度開催 (開催日未定)	東京音楽コンクール入賞者を起用し、新進音楽家に海外での演奏機会を提供するとともに、海外からも若手アーティストを招聘して公演を行い、交流・研鑽する機会を創出することでキャリアアップの道筋をつくります。  会場: 小ホール
Music Program TOKYO Enjoy Concerts!	全32回以上開催 (開催日未定)	東京の音楽文化の活性化・創造力の向上を目指し、「創造性」と「参加性」を柱とした事業として、多彩なコンサートを実施します。  ・シアター・デビュー・プログラム ・プラチナ・シリーズ ・シャイニング・シリーズ ・3歳からの楽しいクラシック ・まちなかコンサート
Music Program TOKYO Workshop Workshop!	全130回以上開催 (開催日未定)	ポルトガルの音楽施設「カーザ・ダ・ムジカ」をはじめとした、国内外のさまざまな機関と連携し、多様なワークショップを開催するほか、ワークショップ・リーダーの育成プログラムを実施します。また、社会的弱者などを対象としたプログラムを充実させ、地域文化施設と連携し、若手アーティストによる地域活性化を目指す事業に取り組みます。  ・国際連携企画 ・東京ネットワーク計画 ・コンビビアル・プロジェクト
Music Program TOKYO Music Education Program	全100回以上開催 (開催日未定)	次世代を担う子供たちを中心に、幅広い層に向けて企画された、「創造性」と「参加性」を重視した音楽教育プログラムを通年で実施します。  ・Talk & Lesson ・オペラをつくろう! ・アウトリーチ・コンサート ・アウトリーチ・ワークショップ

※この内容は2023年1月31日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。  
詳細は東京文化会館広報担当までお問い合わせください。

### <お問い合わせ先>

#### 東京文化会館

〒110-8716 台東区上野公園5-45

電話 03-3828-2111 <https://www.t-bunka.jp/>

【開館時間】10時～22時 【休館日】年末年始、保守点検日 ほか

※新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、開館時間を変更する場合があります。

最新情報は、公式ウェブサイトでご確認ください。

## 東京芸術劇場:音楽(1)

事業名	会期	概要
ボンクリ・フェス2023 Born Creative Festival 2023	2023年7月7日、8日	世界的作曲家の藤倉大をアーティストック・ディレクターに迎え、「新しい音に出会うフェスティバル」を開催。メイン・コンサートに加え、無料コンサートやワークショップ、レクチャーなどを展開します。2017年度に初開催し好評を得てきた企画の第7回目です。  会場:コンサートホール ほか
NEO-SYMPHONIC JAZZ at 芸劇	2023年8月25日	自作アルバムのグラミー賞ノミネートなど、世界的に注目を浴びるジャズ作曲・編曲家の挟間美帆のプログラミングによるシンフォニック・ジャズ・コンサートを開催。  出演:挟間美帆、東京フィルハーモニー交響楽団(管弦楽) ほか 会場:コンサートホール
音楽大学オーケストラ・ フェスティバル	2023年11月4日、 12月17日、 2024年3月30日	首都圏の音楽大学及びミュージアム川崎シンフォニーホールと連携した共同企画です。11月、12月公演では、各大学のオーケストラが出演、2024年3月の公演では、各大学の選抜メンバーによる合同オーケストラを結成し、演奏会を実施します。 出演:東京音楽大学&東京藝術大学、東邦音楽大学&国立音楽大学、シルヴァン・カンブルラン(指揮)、音楽大学フェスティバル・オーケストラ(管弦楽) 会場:コンサートホール
リサイタルシリーズ (全2公演)	2023年11月14日 ほか	世界を舞台に活躍する著名アーティストのリサイタル及び小編成の公演シリーズ。2021年度より「VS」と題し、ピアノ・デュオによる競演/共演をテーマにしたシリーズを実施しています。  会場:コンサートホール
マエストロシリーズ 井上道義 & 読売日本交響楽団	2023年11月18日	本シリーズでマーラー声楽付き交響曲を披露してきた鬼才:井上道義による待望の第2番「復活」。大編成に相応しい音響を誇るコンサートホールならではの期待の公演です。 曲目:マーラー/交響曲第2番 ハ短調「復活」 出演:井上道義(指揮)、高橋絵理(ソプラノ)、池田香織(アルト)、新国立劇場合唱団(合唱)、読売日本交響楽団(管弦楽) 会場:コンサートホール
シアターオペラ vol.17 ヨハン・シュトラウスⅡ世/喜 歌劇『こうもり』(新演出)	2023年11月25日	コンサートホールの特徴を最大限に活かしたシアターオペラ・シリーズの第17回目の企画です。演出に野村萬斎を迎えて上演します。  曲目:J.シュトラウスⅡ世/喜歌劇『こうもり』 出演:阪哲朗(指揮)、野村萬斎(演出) ザ・オペラ・バンド(管弦楽) ほか 会場:コンサートホール

※この内容は2023年1月31日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。  
詳細は、東京芸術劇場広報担当までお問い合わせください。

### <お問い合わせ先>

#### 東京芸術劇場

〒171-0021 豊島区西池袋1-8-1

電話:03-5391-2111 <https://www.geigeki.jp/>

【開館時間】9時~22時 【休館日】年末年始、保守点検日 ほか

※新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、開館時間を変更する場合があります。

最新情報は、公式ウェブサイトでご確認ください。

## 東京芸術劇場: 音楽(2)

事業名	会期	概要
コンサートオペラ vol.9 オッフェンバック/ 喜歌劇『美しきエレヌ』	2024年2月17日	名作『こうもり』が生まれるきっかけとなった、オッフェンバックの『美しきエレヌ』をプロの芸術文化団体として国内で初めて上演します。  出演: 辻博之、ザ・オペラ・バンド(管弦楽) 会場: コンサートホール
0才から聴こう!! &4才から聴こう!! 春休みオーケストラコンサート	2024年3月20日	子供と一緒に音楽を楽しめる演奏会企画。0才児からと4才児から鑑賞できる演奏会をそれぞれ1公演ずつ実施します。日頃、演奏会に行く機会の少ない子育て世代ファミリー向けに演奏曲目も工夫されたオーケストラ公演です。  出演: 読売日本交響楽団(管弦楽) ほか 会場: コンサートホール
オルガン・ア・ラ・カルト (リサイタル・ナイト・ ランチ・講座)	通年で公演延べ9 回、講座3回開催	世界で唯一の回転するパイプオルガンを持つ東京芸術劇場ならではの事業。オルガン・コンサートを低廉な価格でお楽しみいただけます。また、聴くだけではなく学びたい方を対象にした講座も開講します。 リサイタル・パイプオルガンコンサート(年間1回) ナイトタイム・パイプオルガンコンサート(年間4回) ランチタイム・パイプオルガンコンサート(年間4回) パイプオルガン講座(年間3回) 会場: コンサートホール
芸劇オーケストラ・ アカデミー・フォー・ウインド	通年	プロを目指す若手演奏家を対象とした「アカデミー」として、年間を通して演奏技術の鍛錬や演奏会、セミナーなどの実践的活動を行います。  会場: リハーサルルーム シアターイースト ほか
芸劇×読響 ジュニア・アンサンブル・ アカデミー	通年 (計10日間程度)	演奏経験のある小・中・高校生を対象とした、読売日本交響楽団のメンバーが演奏指導にあたるクリニック・ワークショップです。読売日本交響楽団のメンバーと共に成果発表も予定しています。  会場: リハーサルルーム ほか
読響 土曜/日曜 マチネーシリーズ (共催事業)	通年(全20回開催)	日本を代表するトップ・オーケストラのひとつ、読売日本交響楽団との事業提携に基づき、土日の午後で開催するコンサート・シリーズです。  会場: コンサートホール

※この内容は2023年1月31日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。  
詳細は東京芸術劇場広報担当までお問い合わせください。

### <お問い合わせ先>

#### 東京芸術劇場

〒171-0021 豊島区西池袋1-8-1

電話: 03-5391-2111 <https://www.geigeki.jp/>

【開館時間】9時～22時 【休館日】年末年始、保守点検日 ほか

※新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、開館時間を変更する場合があります。

最新情報は、公式ウェブサイトでご確認ください。

## 東京芸術劇場:音楽(3)

事業名	会期	概要
コンサートホール 活性化事業 (提携事業)	通年	<p>午前中に開催する人気企画「ランチコンサート・シリーズ」や、ヴァイオリニスト前橋汀子による「デイト・コンサート」など、一流の演奏家による演奏会をお手軽にお楽しみいただけるコンサートを通年事業として展開します。</p> <p>会場:コンサートホール</p>

※この内容は2023年1月31日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。  
詳細は東京芸術劇場広報担当までお問い合わせください。

### <お問い合わせ先>

#### 東京芸術劇場

〒171-0021 豊島区西池袋1-8-1

電話: 03-5391-2111 <https://www.geigeki.jp/>

【開館時間】9時~22時 【休館日】年末年始、保守点検日 ほか

※新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、開館時間を変更する場合があります。

最新情報は、公式ウェブサイトでご確認ください。

## 東京芸術劇場：演劇舞踊(1)

事業名	会期	概要
若手育成 芸劇eyes eyes plus	2023年4月～2024年 2月	「芸劇が注目する才能たち、」と銘打ち、活動が注目される若手劇団と提携する「芸劇eyes」シリーズ、そしてeyes参加劇団が次の新たなステップとして「いつもと違うをプラスする。」挑戦を行う「eyes plus」シリーズで、若手団体の活動を応援します。2023年度は、芸劇eyes「劇団た組」「ピンク・リパティ」「ほろびて」、eyes plus「ゆうめい」「タカハ劇団」が登場です。  会場：シアターイースト
TACT FESTIVAL 2023	2023年5月	子供と大人が共に楽しめるフェスティバルとして、毎年春に開催しています。コスチュームデザイナーのひびのこづえがダンサーたちとカラフルな世界を展開。さらに、ファミリー客席、音楽劇やまちなかライブなど、彩り豊かなフェスティバルです。  会場：シアターイースト、シアターウエスト、ロワー広場 ほか
若手提携公演	2023年6月～2024年 3月	人気・実力ともに兼ね備え、日本の演劇界を牽引する若手・中堅劇団と提携公演を行います。2023年度は、ハイバイ、アンカル、ニ兎社（ワークショップ公演）、JACROW、パラドックス定数が登場します。  会場：シアターイースト、シアターウエスト
NODA・MAP主催 東京芸術劇場共催公演（作品 未定）	2023年夏	日本演劇界を代表する劇作家・演出家であり、東京芸術劇場芸術監督でもある野田秀樹作・演出・出演のスケールの大きな演劇公演を上演します。  会場：プレイハウス
エブリ・ブリリアント・シング	2023年8月	2020年に体験型演劇スタイルで高評価を得た一人芝居の再演。佐藤隆太の確かな演技力で、生きづらさを抱える人達への温かいメッセージを響かせます。  会場：シアターイースト
芸劇dance KARAS主催 東京芸術劇場共催公演	2023年8月	日本を代表するダンサー・振付家の勅使川原三郎が、国際的に活躍するアーティストやダンサー、音楽家などとコラボレーションする新作公演を上演します。  会場：プレイハウス

※この内容は2023年1月31日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。  
詳細は東京芸術劇場広報担当までお問い合わせください。

### <お問い合わせ先>

#### 東京芸術劇場

〒171-0021 豊島区西池袋1-8-1

電話：03-5391-2111 <https://www.geigeki.jp/>

【開館時間】9時～22時 【休館日】年末年始、保守点検日 ほか

※新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、開館時間を変更する場合があります。

最新情報は、公式ウェブサイトでご確認ください。

## 東京芸術劇場：演劇舞踊(2)

事業名	会期	概要
東京芸術祭 芸劇オータムセレクション 木ノ下歌舞伎 「勸進帳」	2023年9月	2010年に初演、2016年に完全リクリエーション版が上演され、その後パリ公演も行った木ノ下歌舞伎版「勸進帳」をオリジナルキャストで再演します。現代演劇の手法で古典の可能性を探る木ノ下歌舞伎主宰の木ノ下裕一(監修・補綴)と、歌舞伎から西洋古典劇、現代演劇まで幅広く手掛ける杉原邦生(演出・美術)。年々活躍の場を広げ続ける二人による作品を上演し、その才能を後押しします。 会場：シアターイースト
謝珠栄演出 「天翔ける風に」	2023年9月～10月	野田秀樹芸術監督の代表作のひとつ「贖作・罪と罰」を原案とし、2009年の東京芸術劇場リニューアル直前に上演されたミュージカルを、2023年版として新たに上演します。幅広い観客層に向けた、親しみやすく上質な作品提供を目指します。 会場：プレイハウス
東京芸術祭 芸劇オータムセレクション 太陽劇団 「金夢島 L' ÎLE D' OR Kanemu-Jima」	2023年10月	20世紀から今世紀にかけて現代演劇の最前線を行くフランスの太陽劇団、22年ぶりの来日公演です。劇団主宰のアリアヌ・ムヌーシュキンが、日本文化へのオマージュと共に現代の社会状況を鋭く洞察する新作を2021年に発表、本国でも話題となりました。コロナ禍を越える「演劇の力」を、世代を越えて力強く訴えます。 会場：プレイハウス
ホリプロ主催 東京芸術劇場共催公演 「ねじまき鳥クロニクル」	2023年11月	インバル・ピントをはじめとしたトップクリエイターが結集し、芝居、ダンス、音楽のジャンルを融合させ、村上春樹の原作を独創的な空間として舞台化した2020年の話題作が待望の再演です。 会場：プレイハウス
地方公共劇場主催 東京芸術劇場共催公演	2023年11月 ～2024年2月	地方連携ネットワークとして、地方公共劇場発信事業の東京公演を実施し、全国の舞台芸術基盤の底上げを図ります。2023年度は、北九州芸術劇場、穂の国とよはし芸術劇場プラット、彩の国さいたま芸術劇場と共催します。 会場：シアターイースト
東京演劇道場生 出演公演	2023年11月～12月	野田秀樹芸術監督率いる「東京演劇道場」は、2020年に、野田の傑作「赤鬼」を4チームによる競演で上演し、それぞれの個性を發揮した演技が注目を集めました。2022年には演出に柴幸男を迎え「わが町」を上演。今回は、東京演劇道場として、第三弾の公演です。 会場：シアターイースト

※この内容は2023年1月31日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。

詳細は東京芸術劇場広報担当までお問い合わせください。

※太枠は本プレスリリースの表紙に掲載している事業です。

### ＜お問い合わせ先＞

#### 東京芸術劇場

〒171-0021 豊島区西池袋1-8-1

電話：03-5391-2111 <https://www.geigeki.jp/>

【開館時間】9時～22時 【休館日】年末年始、保守点検日 ほか

※新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、開館時間を変更する場合があります。

最新情報は、公式ウェブサイトでご確認ください。

### 東京芸術劇場：演劇舞踊(3)

事業名	会期	概要
芸劇dance 若手提携	2024年1月	2022年に芸劇dance提携公演で「ヘッダ・ガーブレル」を上演し、話題を呼んだダンサー・振付家の三東瑠璃のカンパニーが新作を上演。ほかにも注目を集める実力派のダンス・カンパニーと提携します。  会場：シアターイースト
二兎社主催 東京芸術劇場共催 「パートタイマー・秋子」	2024年1月～2月	2003年に永井愛が劇団青年座に書き下ろし、再演を重ねた人気作品が東京芸術劇場に初登場します。主宰の永井愛自身が演出を手がけ、二兎社公演として装いも新たに生まれ変わります。  会場：シアターウエスト
熊林弘高演出 「インヘリタンス」	2024年2月	これまで5度にわたり東京芸術劇場と協働してきた演出家の熊林弘高を引き続き起用し、世界的に注目を集めた最新戯曲、上演時間7時間の大作に挑戦します。  会場：プレイハウス
芸劇dance ワークショップ	通年	振付家によるダンスワークショップやレクチャーを行い、試演発表会も実施します。作品制作を通じてクリエイションのプロセスを学んでもらい、創作、表現、テクニクにわたってスキルアップを目指します。海外でも活躍するダンサー・振付家の中村蓉が、ヴァージニア・ウルフ「オーランド」の世界を読み解きながら、新たな表現を模索するワークショップを開催します。  会場：リハーサルルーム、シアターイースト
東京演劇道場	通年	野田秀樹芸術監督が開設した、次代を担う俳優や演出家などの演劇人の育成を目指す修行・交流プロジェクトです。国内外から講師を招き、ワークショップなどを継続的に行っていきます。  会場：リハーサルルーム ほか
都民半額観劇会	通年(年4回) (春、夏、都民の日記念／秋、冬)	都内劇場で開催される質の高い作品を、都民が低廉な料金で観劇できる機会を提供し、東京の芸術鑑賞環境の充実を目指すとともに、将来の演劇人口の裾野を広げ、演劇界の活性化に寄与する観劇会です。

※この内容は2023年1月31日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。  
詳細は東京芸術劇場広報担当までお問い合わせください。

#### <お問い合わせ先>

##### 東京芸術劇場

〒171-0021 豊島区西池袋1-8-1

電話：03-5391-2111 <https://www.geigeki.jp/>

【開館時間】9時～22時 【休館日】年末年始、保守点検日 ほか

※新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、開館時間を変更する場合があります。

最新情報は、公式ウェブサイトでご確認ください。

## 東京芸術劇場:教育普及・人材育成等(1)

事業名	会期	概要
舞台技術セミナー	通年	創造と安全を両立させながら、舞台作品を日々輝かせている舞台技術の専門スタッフたちが、現場で直面するリスクや問題点、その解決策などについて話し合い、理想的な舞台芸術と舞台技術のあり方についての見識を深めるためのセミナーを開催します。  会場: 東京芸術劇場内
ワークショップ	通年	国内外の優れた講師を招き、またオンラインを活用し、プロフェッショナルを目指すワークショップ・ファシリテーターやエドューケーターたちの学びの場を提供します。その成果としてファシリテーターたちは子供や障害者、外国人など、誰もが劇場に親しむための企画を作成し、さまざまなワークショップや講座を開催します。  会場: 東京芸術劇場内
バックステージツアー／劇場ツアー	通年	「バックステージツアー」では、普段は見ることのできないバックステージを技術スタッフのご案内します。さらに、舞台機構・照明・音響などの体験型デモンストレーションを行い、劇場の知られざる魅力に触れていただけます。「劇場ツアー」では、劇場見学の他、劇場内の美術品を鑑賞したり、屋上を散策するなど、ツアーガイドが劇場の歴史や特徴などについてご案内します。  会場: 東京芸術劇場内
人材育成・教育普及 (共催事業、インターン)	通年	専門性の高い劇場の特質を生かした人材育成事業を拡充するため、大学や高校と連携し、インターンの受け入れや公演事業のサポートなど、次世代の専門人材を育成します。
多文化共生とアートに関するリサーチ	通年	日本人と外国人が、東京の発展に向けて創造的に参加・活躍していくために、アートによる多文化共生の優れた実践の調査研究を進めます。世界をリードするグローバル都市実現のため、多様性を生かした創作活動を推進し、芸術を用いた相互理解を目指します。
アトリウムの賑わい創造事業	通年	劇場前広場やアトリウム空間などのパブリックスペースを活用し、大道芸やストリート・アートなど、さまざまなプログラムで劇場周辺の賑わいを創出します。また、地元豊島区や池袋エリアの地域主体で実施されるイベントとの連携や、芸術文化の役割、アートを使った街づくりをテーマとしたレクチャーなども開催します。

※この内容は2023年1月31日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。  
詳細は東京芸術劇場広報担当までお問い合わせください。

### <お問い合わせ先>

#### 東京芸術劇場

〒171-0021 豊島区西池袋1-8-1

電話：03-5391-2111 <https://www.geigeki.jp/>

【開館時間】9時～22時 【休館日】年末年始、保守点検日 ほか

※新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、開館時間を変更する場合があります。

最新情報は、公式ウェブサイトでご確認ください。

## 東京芸術劇場:教育普及・人材育成等(2)

事業名	会期	概要
東京のはら表現部	通年	障害の有無を超え、高校生などの若者世代が、身体のうちから湧き起こる、新しいダンス表現を創造する活動です。対等な関係性のもとでの共創という共生社会が体现された場を創出します。ファシリテーター人材育成を目的にアウトリーチ活動も実施。障害者支援施設やデイサービスセンターなどに出向き、各施設の利用者の身体特性に合わせた身体表現活動を行うことで、ファシリテーション実践経験を積んでいただきます。
ホワイトハンドコーラス	通年	「ホワイトハンドコーラス」は、障害の有無にかかわらず子供たち誰もが参加できる音楽活動です。東京芸術劇場が一般社団法人エル・システムジャパン、エル・システムコネクトの2団体と共に事業を実施しています。盲学校に通う子供たちによるコーラスのワークショップなど、視覚や聴覚障害などのある子供たちが音楽を通してインクルーシブな表現活動を行います。
社会共生セミナー	通年	共生社会の実現のため、芸術文化を通して地域の包摂的環境の推進を図るためにはどうすべきなのか、公立文化施設関係者を主な対象として、レクチャーや講座を実施します。文化による多様な価値観の形成と、それを担う公立文化施設職員の知識習得の場を設けます。
都民芸術フェスティバル等	2024年1月～3月	舞台芸術の振興を図るとともに、質の高い舞台芸術を低廉な料金で都民に提供するため、各分野を代表する芸術文化団体の公演事業に助成します。 また、子供向けプログラムを実施し、子供たちが芸術家や芸術団体などと直接触れあうことにより、芸術による表現や創造の喜び、楽しさを理解する機会を創出します。

※この内容は2023年1月31日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。  
詳細は東京芸術劇場広報担当までお問い合わせください。

### <お問い合わせ先>

#### 東京芸術劇場

〒171-0021 豊島区西池袋1-8-1

電話：03-5391-2111 <https://www.geigeki.jp/>

【開館時間】9時～22時 【休館日】年末年始、保守点検日 ほか

※新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、開館時間を変更する場合があります。

最新情報は、公式ウェブサイトでご確認ください。